

図書館業務で活用できる主な API

～生成 AI と組み合わせて業務ツールを作るために～

作成：ChatGPT 無料版

修正：広島大学 上田大輔

作成日：2026/08/17

API とは

API（Application Programming Interface）は、インターネット上のサービスが持つデータや機能を、プログラムから利用するための仕組みです。

例えば、以下のような処理は、多くの場合 API を利用して実現しています。

- ISBN を入力すると書誌情報を取得する
- キーワードで図書を検索する
- DOI から論文情報を取得する
- 全国の図書館の所蔵状況を調べる

近年では生成 AI に「〇〇の API を利用してください」と依頼するだけで、API を利用したプログラムを自動生成できるようになりました。そのため、API の細かな仕様をすべて理解していなくても、生成 AI と対話しながら業務ツールを作成できるようになっています。

API を使うにはそれぞれの API の利用規約を守ってください。また、API の利用には事前登録や API キー等が必要になる場合がありますので、それぞれの API の利用条件を事前に確認してください。

図書系 API

① openBD API（おすすめ）

概要

ISBN から書誌情報を取得できる API です。登録不要で利用でき、日本の出版情報を簡単に取得できます。

API：<https://api.openbd.jp/v1/get>

主な取得項目

ISBN、タイトル、著者、出版社、出版年月、内容紹介、書影 URL

利用条件

- 利用規約：<https://openbd.jp/terms/>（同意が必要）
- 利用登録、API キー、認証は原則不要

活用例

ISBN 検索ツール、書誌データ取得、MARC 作成支援、新着図書紹介

② CiNii Books API

概要

大学等が所蔵する図書などを検索できる API です。大学図書館で研究支援等を行う際に活用できます。

参考ページ：https://support.nii.ac.jp/ja/cib/api/b_opensearch

主な取得項目

書名、著者名、出版者、出版年、所蔵館数

利用条件

- CiNii ウェブ API デベロッパーの登録が必要
<https://support.nii.ac.jp/ja/cinii/api/developer>
- アプリケーション ID が必要
- アプリケーション ID による識別を行う。

活用例

文献検索支援、研究テーマ調査、最新論文一覧作成

論文系 API

③ Crossref API（おすすめ）

概要

DOI から論文情報を取得できる API です。世界中の学術出版社が登録している論文情報を検索できます。

参考ページ：<https://api.crossref.org/swagger-ui/index.html>

主な取得項目

DOI、論文タイトル、著者、掲載誌、出版年

利用条件

- Access and authentication :
<https://www.crossref.org/documentation/retrieve-metadata/rest-api/access-and-authentication/>
- 登録：不要
- API キー / ID：アプリケーション ID が必要
- 認証：アプリケーション ID による識別

活用例

DOI 確認、引用情報取得、論文情報確認

④ OpenAlex API

概要

論文・研究者・研究機関などのオープンな学術情報を提供する API です。研究成果分析や研究支援に活用できます。

API: <https://api.openalex.org/>

参考ページ : <https://help.openalex.org/api/>

主な取得項目

論文、著者、所属機関、被引用数、Open Access 情報

利用条件

- API reference : <https://help.openalex.org/api/>
- 基本的な利用（1 日 2,000 件程度のデータ取得）では API キーは不要。API キーを取得すると 1 日 100 万件のデータ取得が可能

活用例

研究成果分析、共著ネットワーク分析、Open Access 状況確認

API 活用例

目的	利用する API
ISBN から書誌情報を取得する	openBD API
論文を検索する	CiNii Research API
DOI から論文情報を取得する	Crossref API
研究成果を分析する	OpenAlex API

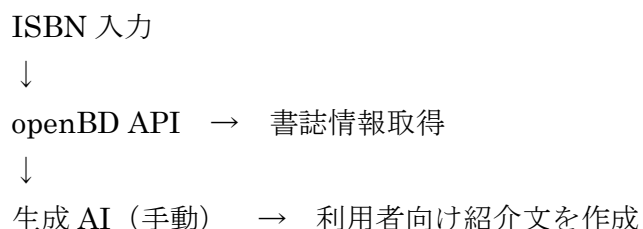
API と生成 AI を組み合わせる

生成 AI だけでは、最新の書誌情報や論文情報を取得することはできません。一方、API は正確なデータを取得できますが、そのデータを分類・要約したり、推薦理由を作成したりすることは苦手です。そのため、

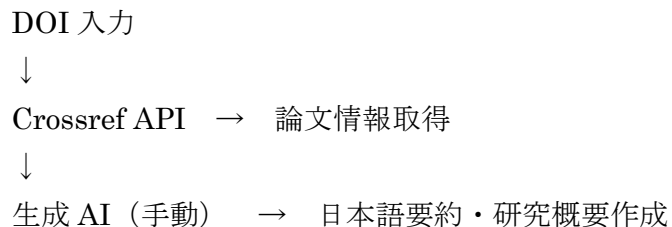
- API は「データを取得する」
- 生成 AI は「データを分析・分類・要約・説明する」

という役割分担で利用すると、より実用的な業務ツールを作成できます。

例 1 ISBN 検索ツール



例 2 研究支援ツール



研修で覚えていただきたいこと

API は「最新で正確なデータを取得する仕組み」です。生成 AI は「取得したデータを人が利用しやすい形に整理・分析・説明する仕組み」です。この 2 つを組み合わせることで、ISBN 検索ツール、図書館統計ツール、入館データ分析ツール、ILL を活用した選書支援ツール、研究支援ツールなど、図書館業務に役立つさまざまな Web アプリを作成できます。

この文書は ChatGPT 無料版が作成しました。各 API の利用条件等については広島都市学園大学の森保氏の情報をもとに、上田が確認・修正・追記しました。